

事業内容、事業の効果に関する写真



【活動 0-1】事務所開設

統括事務所をマカッサル市に、地方事務所を最も酪農業が盛んで酪農協同組合事務所のある西シンジャイ郡に開設した



【活動 0-3】関係機関との調整会議

定期的にシンジャイ県畜産局関係課および畜産局長(赤丸)との活動調整会議を実施した



【活動 0-5】専門家派遣(獣医師、中野光志)

人工授精師研修にて、牛の健康と疾病について指導する中野専門家(赤丸)



【活動 0-5】専門家派遣(酪農経営、原康二)

濃厚飼料配合について指導する原専門家(赤丸)



【活動 0-5】専門家派遣(獣医師、若槻義弘)

人工授精師研修にて、実際に牛の直腸を利用しながら人工授精技術を指導する若槻専門家(赤丸)



【活動 0-5】専門家派遣(獣医師、別所忠悟)

人工授精技術研修にて酪農農家を巡回し、人工授精師に実技指導をする別所専門家(赤丸)



【活動 0-5】専門家派遣(酪農経営、有馬儀信)

乳牛の餌の種類について酪農協同組合長(中央)に指導する有馬専門家(赤丸)



【活動 0-5】専門家派遣(酪農行政、吉浜彰啓)

シンジャイ県畜産局にて局長と不要牛の廃用認定等に関する政策協議・提言する吉浜専門家(赤丸)



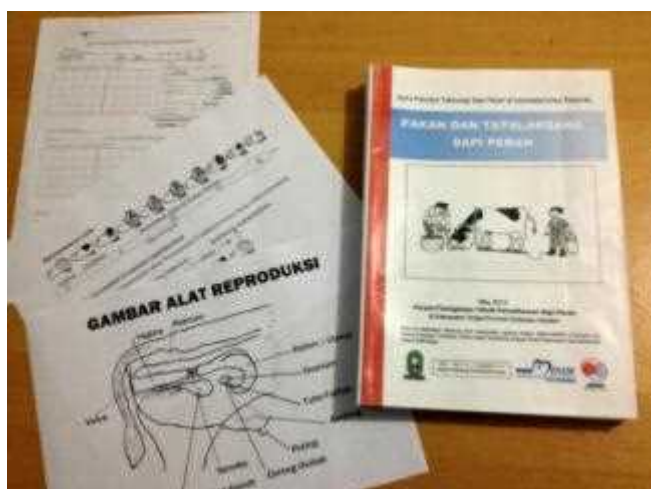
【活動 0-6】中間評価(本部事業担当者)

酪農家を訪問し、現状や事業効果についてインタビューする本部事業担当者(赤丸)



【活動 0-6】事業モニタリング(現地事業担当者)

スクールミルクプログラムをモニタリングする現地事業担当者(赤丸)



【活動 1-1】研修教材の作成

酪農技術指導員育成研修および人工授精技術研修用の配布教材を作成した



【活動 1-3】人工授精技術研修(基礎コース)

研修で基礎を学ぶ地元人工授精師ら。研修では毎回、講師役の日本人専門家と活発な質疑応答が交わされた



【活動 1-4】人工授精技術研修(巡回指導コース)

巡回指導コースでは、日本人専門家(赤丸)が県畜産局牛舎と全酪農家世帯を巡回し、直腸検査法について実技指導した



【活動 1-6】酪農技術指導員育成研修

受講者は日本人専門家(赤丸)から乳牛の給餌量などを酪農家に指導する方法について学んだ



【活動 2-1】酪農家事業説明会

事業説明会には酪農協同組合員(酪農家)が集まり、酪農業の課題や本事業での取り組み等について共有された



【活動 2-2】酪農技術指導員による酪農家モニタリング

酪農技術指導員(赤丸)は月 1 回酪農家世帯を巡回し、飼育状況についてモニタリングした



【活動 3-1】パイロット校での栄養教育

パイロット校(マダコ小学校)では毎月 1 回、教師と事業スタッフが栄養教育を実施した



【活動 3-2】パイロット校での牛乳配布

パイロット校では週 3 回、酪農協同組合加工乳が県畜産局予算で児童に配布された



【その他】三輪トラック(集乳車)と研修実践用酪農具の供与
運搬時の生乳の品質保持のために酪農協同組合への集乳用三輪トラックの供与、酪農農家へ研修で学んだ知識を実践で活かすための農具(一輪車、スコップ、レーキ、鼻環、ロープ等)の供与を行った



【その他】研修実践用酪農具の供与
供与された農具(鼻環)を各酪農農家が乳牛に装着し、効果的に乳牛の制御が行えるようになった



【その他】作成した事業広報資料(現地)

事業広報資料(カレンダー、Tシャツ、作業着など)を作成し、事業地において幅広い方々に、日本からの支援である本事業を広報した



【その他】作成した事業広報資料(本邦)

事業広報資料(パンフレット、ニュースレター、報告書など)を作成し、日本国内において幅広い方々に、日本からの支援である本事業を広報した